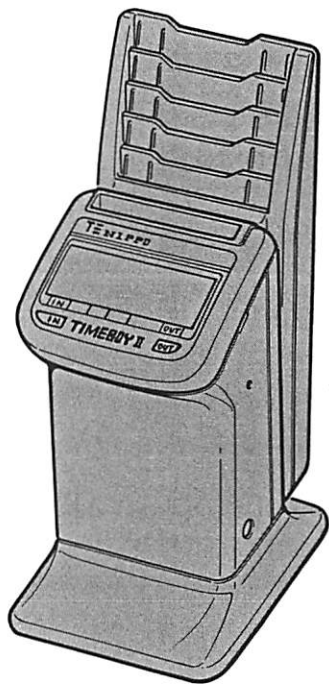
取扱説明書

タイムレコーダー

TIMEBOY Ⅱ®

NIPPO

このたびはニッポー「TIMEBOYⅢ®」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

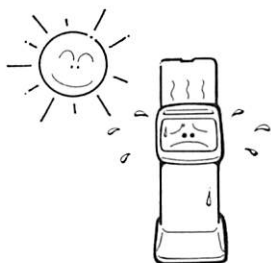
「TIMEBOYⅢ®」は置き場所を選ばない小型で、どなたでも簡単にお使いいただける製品です。この取扱説明書をご覧いただき、よくご理解の上ご愛用いただく様お願い申し上げます。

目　次

特に注意していただきたいこと

設置上のご注意

次のような場所は故障の原因となりますので避けてください。

●直射日光のあたる場所

●湿気やホコリの多い場所

●振動が多く、不安定な場所

使用上のご注意

●使用温度は0℃～40℃です。

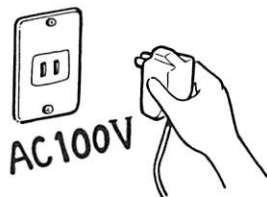
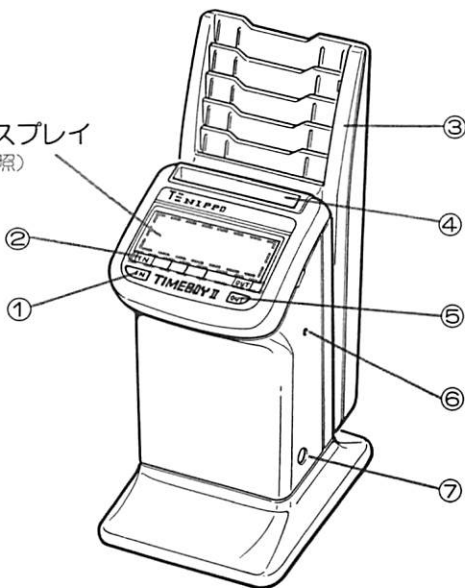
●折れ曲ったカードは使用しないでください。

●カードは無理に押し込んだり、引き抜いたりしないでください。

●本体の汚れを落す時は、ベンジン、シンナー等を使用しないでください。乾いた布等をご使用ください。

●電源はＡＣ100Ｖを使用してください。

各部の名称とはたらき

①IN（イン）ボタン

通常モード／設定モードで下記のように機能が異なります。

通常モード：出勤時刻をタイムカードに印字する時に押します。

設定モード：設定項目の数値を変更する時に押します。

②操作ガイダンス

操作モード名が表示されています。
（IN・OUT・締日・秒分時・年月日・A・B）

③タイムカードラック

タイムカードを5枚まで収納することができます。

④タイムカード挿入口

タイムカードを差し込みます。カードはまっすぐに差し込んでください。ある程度差し込むと、カードを自動的に引き込み印字します。印字が終わるとカードは自動的に戻ります。

⑤OUT（アウト）ボタン

通常モード／設定モードで下記のように機能が異なります。

通常モード：退勤時刻をタイムカードに印字する時に押します。

設定モード：設定項目を選択する時に押します。

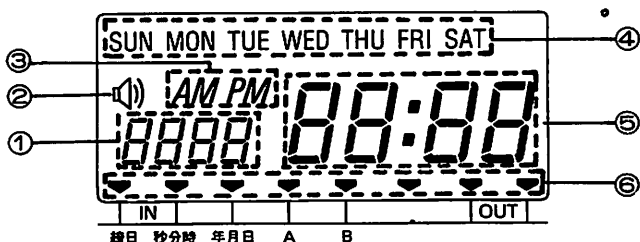
⑥リセットスイッチ

電源を入れても表示が出なかったり、ボタンが作動しない場合にマッチ棒のようなものの先で、このスイッチを押します。

ご注意：このスイッチを押すと、設定内容など全てのデータが消去されます。スイッチを押した後は、設定を始めからやり直してください。

⑦電源ジャック

付属の電源アダプターの端子を差し込みます。

液晶ディスプレイ

①日付け/エラー表示
設定モード時は、西暦年(下2桁)・秒などを表示します。通常モード時は日付けを表示します。
また、エラー発生時にはエラーコードを表示します。

②低電圧表示
電源(バッテリー)の電圧が低くなると点灯します。

③AM/PM表示
(エーエム ピーエム)

午前(AM)、午後(PM)を表示します。

④曜日表示
曜日を表示します。

⑤時/分/月/日表示
設定モード時は、月・日などを表示します。
通常モード時は、時・分を表示します。

⑥ガイダンスマーク
設定モード時は、設定項目を示します。
(点滅)(締日・秒分時・年月日・A・B)
通常モード時は印字欄の位置を示します。
(点滅)(IN・OUT)

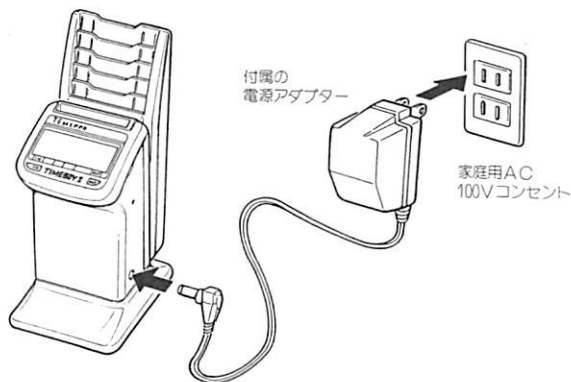
付 属 品

本機には次の付属品があります。ご使用前に付属品をお確かめください。

- 電源アダプター
- 取扱説明書
- サンプルタイムカード
- ご愛用者カード
- 壁掛板

ご使用になる前に

電源の入れかた

付属の電源アダプターを家庭用AC100Vコンセントに差し込み、本機の電源ジャックに接続します。
電源アダプターは、直接コンセントに差し込んでください。(二双コンセントなどからの使用は、避けてください。)

- 本機に付属のタイムボーイⅡ専用電源アダプター(TB-5320A)以外は使用しないでください。他の電源アダプターなどを使用しますと故障の原因となります。
- 電源アダプターは、コンセントに対して垂直に接続し、しっかりと固定してください。

電源が入ると液晶ディスプレイに現在時刻・日付け・曜日が表示されます。

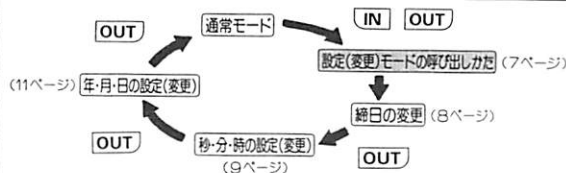
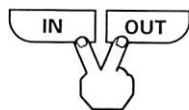
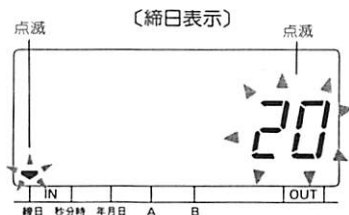
出荷時の設定について

本機は出荷時に、次の通り設定されています。(内部バッテリーにより約5年間メモリーを保持します。)

- 今現在の"**年月日・時分**"(月差±15秒)
- タイムカードの締日……**20日**
- 日替時刻(タイムカードに印字する段を自動的に切り替える時刻)……**AM3:00**

■**タイムカードの締日が20日の場合は、このままの状態ですぐにご使用になれます。**
締日が20日以外の場合は、次ページ「設定(変更)のしかた」をご覧ください。

設定(変更)のしかた

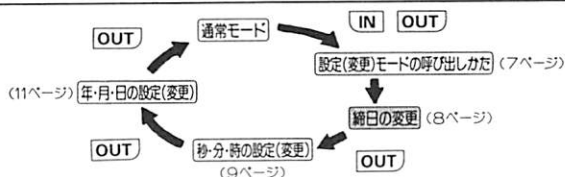
本機は出荷時に現在時刻・締日などがあらかじめ設定してありますが、設定内容を変更する時は「設定(変更)モードの呼び出しかた」以降の手順に従って操作してください。

IN ボタンと OUT ボタンを約3秒間同時に押し続けます。

同時に3秒間押し続ける

液晶ディスプレイが締日表示に切り替わり、設定(変更)モードとなります。

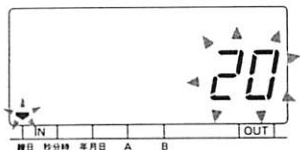
ご注意 ボタンを押している間はIN、OUTのガイダンスマークが点滅しています。点滅していない場合は、再度両ボタンを押してください。

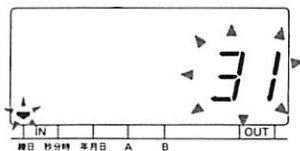
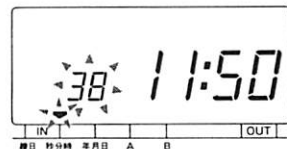
ご参考…設定(変更)をする前に

変更する数値を入力する場合は下記のように操作をします。

- 液晶ディスプレイに表示されている数字の点滅している所が、変更対象となります。
- IN ボタンで数値を変更します。IN ボタンを押し続けると、数値が変わります。
- OUT ボタンを押して数値を設定し、表示を次の項目に切り替えます。

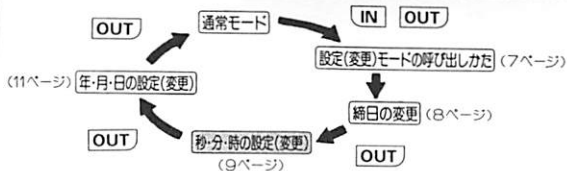
締日の設定(変更)のしかた

本機は出荷時に締日を20日にあらかじめ設定してあります。締日を20日以外に設定する時は、下記の手順で行なってください。

前項「設定(変更)モードの呼び出しかた」の状態から設定を行ないます。

例えば締日を31日(月末締め)にするには

数値を「31」に変更する

「OUT」ボタンを押します

これで締日が31日(月末締め)に設定されました。

締日を20日のままで変更しない時は、IN ボタンを押さずに OUT ボタンを押して、次の設定に進みます。

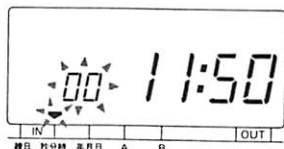
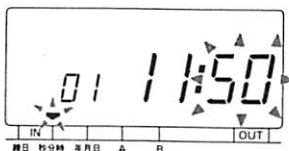
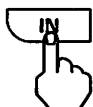
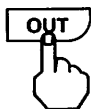
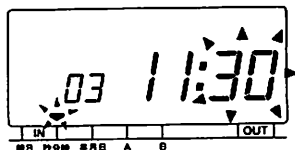
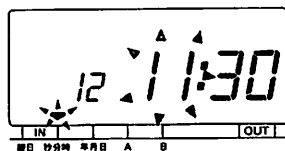
秒分時(現在時刻)の設定(変更)のしかた

本機は出荷時にあらかじめ年月日・時分を設定してありますが、設定を変更する時は下記の手順で行なってください。

前項「締日の設定(変更)のしかた」で、締日を設定した状態から行ないます。

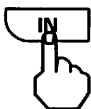
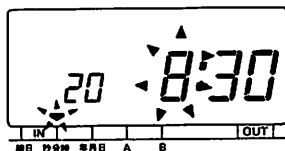
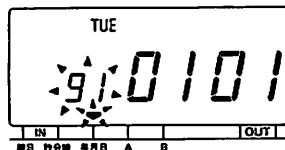
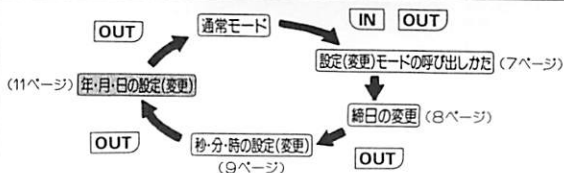
例えば1992年４月13日(月)午前８時30分00秒に設定するには

1 「秒(00)」を設定します

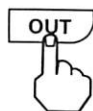
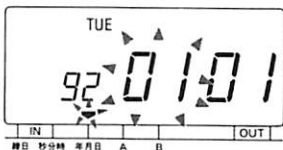
ボタンを押すと時計が「00」秒から動作します。

● 時報などに合わせて押すと、正確に合わすことができます。

「OUT」ボタンを押します

2 「分(30)」を設定します

数値を「30」に変更する

「OUT」ボタンを押します

3 「午前8時(8)」を設定します

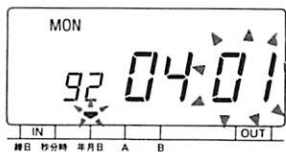
「時」の設定は24時間制で行ないます。

● 午後3時の場合は「15」に設定します。

数値を「8」に変更する

「OUT」ボタンを押します

年月日の設定（変更）のしかた

4 「1992年(92)」を設定します

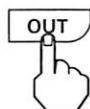
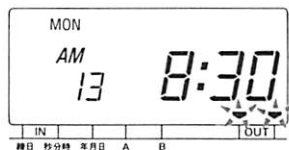
「年」の設定は下２桁で行ないます。
設定範囲は91年〜10年までで、初期
設定は91年になっています。

数値を「92」に変更する

「OUT」ボタンを押します

5 「4月(04)」を設定します

数値を「04」に変更する

「OUT」ボタンを押します

6 「13日(13)」を設定します

● 曜日は自動的に設定されます。

数値を「13」に変更する

「OUT」ボタンを押します

これで1992年4月13日(月)午前8時30分00秒が設定されました。

● 設定途中で3分間操作を中断すると表示は初期設定状態に戻ります。その時は、もう一度最初から設定し直してください。

● 設定中に誤って数値を入力した時は、7ページ「設定(変更)モードの呼び出しかた」に戻り、最初から設定し直してください。

● 設定中、変更する必要のないモードでは、IN ボタンを押さずに、OUT ボタンを押すと、次の設定モードに進みます。

● それぞれの設定値の最大値で、さらに IN ボタンを押すと、最小値へ戻ります。

設定モードから通常モードへの切替えについて

設定モードから通常モードに切替えるには、下記の3つの方法があります。

- OUT ボタンを通常モードになるまで押す。
- 電源プラグを抜く。(電源プラグを抜いたら、液晶ディスプレイの表示が消えるまで待ってください。)
- 3分間、操作ボタンを押さずに待つ。

使用方法

使用上のご注意

- タイムカードは無理に押し込んだり、引き抜いたりしないでください。
- タイムボーイII専用のタイムカードをご使用ください。
- 折れたカード、濡れたカード、汚れたカードなどは使用しないでください。

使用方法

タイムカードをまっすぐに投入します。
少しタイムカードを差し込むと、自動的に引き込み印字します。印字が終るとカードは自動的に戻ります。

> 液晶ディスプレイのガイダンスマーク(▼)が示す所(IN または OUT)に印字します。
> (ガイダンスマーク(▼)が IN の時は、タイムカード IN の列、OUT の時は、OUT の列に印字します。)
>
> - 日付けは IN に印字する場合のみ、時刻とともに印字されます。
> - 印字位置を変更したい時は、IN ボタン、または OUT ボタンを押してください。

ご注意 タイムカードの表裏を間違えたり、正しくカードが投入されない時には、警告音と共にエラー表示が出て印字されません。

出勤の場合

ガイダンスマーク(▼)がINを示していることを確認して、タイムカードを投入します。

日	入　(IN)	退(OUT)
21	8:46	

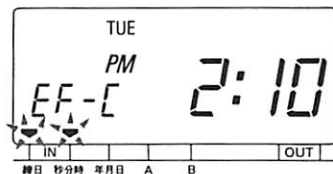
(タイムカード印字例)

退出の場合

ガイダンスマーク(▼)がOUTを示していることを確認して、タイムカードを投入します。

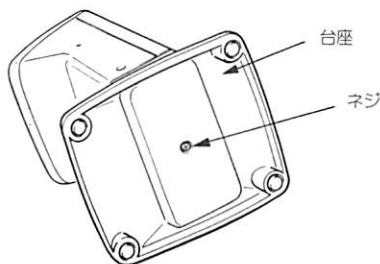
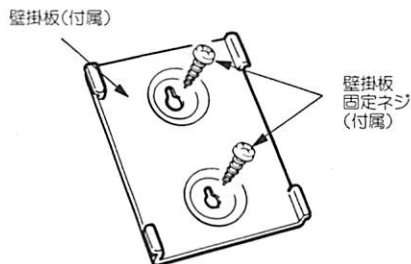
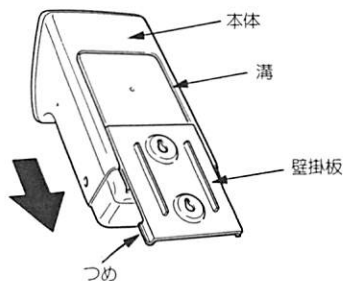
日	入　(IN)	退(OUT)
21	8:46	17:09

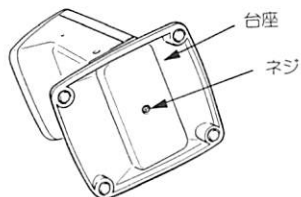
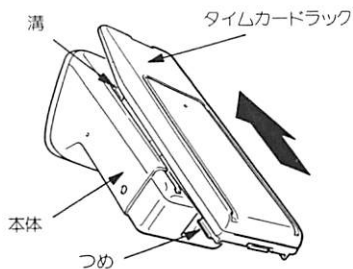
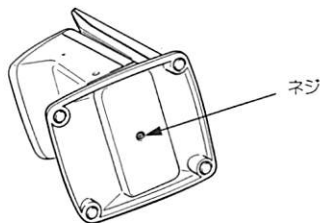
(タイムカード印字例)

ご注意 タイムカードの表裏を間違えた場合は、警告音とともに「EF-C」が表示され、印字されません。
正しい面にして、再投入してください。

設置のしかた

本機は台上に設置するほかに、壁掛けにして使用することもできます。

壁掛けにする場合

本体底面のネジをはずし、台座を本体より引きはなします。

壁掛板（付属）を固定ネジ（付属）2本で壁にしっかりと固定します。

壁掛板のつめを本体裏面の溝に合わせ、本体を矢印の方向にスライドさせ取付けます。

タイムカードラックの取付けかた

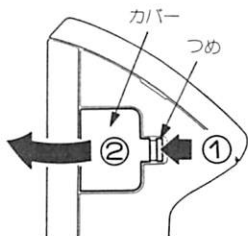
本体底面のネジをはずし、台座を本体より引きはなします。

タイムカードラックのつめを、本体裏面の溝に合わせ、タイムカードラックを矢印の方向にスライドさせ取付けます。

台座を本体にはめ込み、ネジでしっかりと取付けます。

タイムカードラックを取付けた後、タイムカードラック裏面の溝に壁掛板を取り付け、壁掛用として使用することもできます。(取付方法は「壁掛けにする場合」参照)

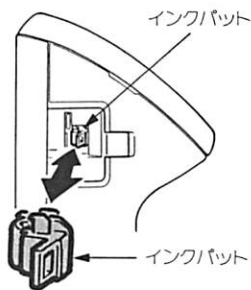
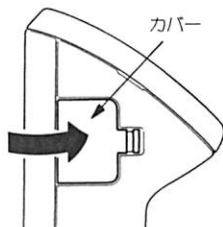
インクパットの交換

タイムカードの印字が薄くなってきたら、インクパット(別売)の交換を行なってください。

インクパットの交換のしかた

①本体側面にあるカバーのつめを矢印の方向に押します。

②カバーを矢印の方向に開けます。

インクパットを矢印の方向に引き抜き、新しいインクパットと交換します。

インクパットには市販のインクなどを補給しないでください。
専用インクパット（別売)をお使いください。

カバーを取付けます。

エラー発生の原因と処理のしかた

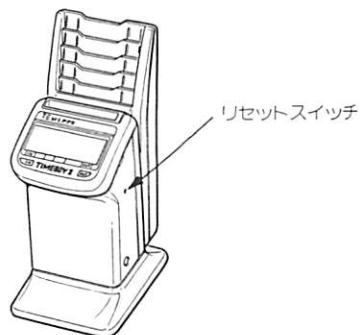
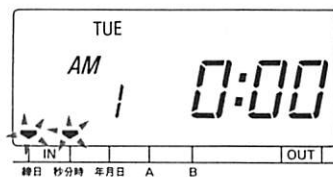
誤ってタイムカードを入れたり、本機に異常が発生すると、警告音とともに液晶ディスプレイにエラーコードが表示されます。
下記のエラーコード表をご覧になり、正しい処理を行なってください。

● 下表の内容には、ご自分で処理のできない場合もあります。その場合には、お買求めの販売店、またはお近くの当社営業所までお問い合わせください。

エラー表示	エラー内容	原因と処理
EF-F	○印字位置までカードを引き込んだが、カードを検出できない。 ○カードなどが詰まっている。	●印字直前にカードを抜いたものと思われます。動作中はカードを抜かないでください。 ▼ カードを再投入 ●取り除いてください。
EF-C	○カードの表裏を間違えた。	●タイムカードの面を確認して再投入してください。
EF-2 EF-4 EF-6	○カード詰りエラー	●ゴミなどがつまっている。 ▼ 点検が必要です。
EP-1 EP-2 EP-5 EP-3	○プリンターエラーです。	●プリンターのトラブルです。 ▼ プリンターの修理が必要です。
EC03	○RAMエラー	●CPUのトラブルです。 ▼ CPUの点検が必要です。

リセットのしかた

電源を入れても表示が出なかったり、ボタンが作動しない場合には、本体側面のリセットスイッチをマッチ棒のようなものの先で押します。

リセットスイッチを押すと、全てのデータが消去されますので、設定をすべてやり直す必要があります。

（液晶ディスプレイの表示）

設定をやり直します。

7ページ「設定（変更）のしかた」参照。

仕様(製品改良のため外観・仕様など予告なしに変更することがあります。)

サイズ	W130×H304.5×D140㎜
重量	1.07㎏
電源	DC12V±0.8V 15VA (専用アダプター使用)
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	20%～80%(結露しないこと)
時計機構	水晶発振式 平均月差±15秒
月末調整	万年カレンダー内蔵
表示	液晶デジタル表示
印字方式	シリアル静止印字
停電補償	約5年間(環境条件により異ります。)

付属品(別売)

タイムボーイ専用タイムカード(100枚入)
タイムボーイII専用インクパット

お近くの文具・事務機店でお買い求めください。

TIMEBOYⅢ®

保 証 書

この製品は当社の厳しい品質管理のもとで生産し、
製品規格に基づく検査に合格したものです。
当製品の品質については、株式会社テクノ・セブン
が責任をもって保証いたします。

機　　種	TIMEBOYⅢ®
保証期間	(お買い上げ日) 年　月　日から1ヵ年
お客様名 ご住所	〒　☎　(　　)
販売店	住所・店名

この保証書は日本国内のみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

株式会社テクノ・セブン

事務機器部門 NIPPO®

横浜市神奈川区羽沢町1656　☎045(381)7511

営業所	電話	営業所	電話
札　幌営業所	☎011(643)0622	横　浜営業所	☎045(383)7742
仙　台営業所	☎022(275)6771	名古屋営業所	☎052(733)5177
北関東営業所	☎048(833)2211	大　阪営業所	☎06 (454)1521
千　葉営業所	☎0472(33)3401	高　松営業所	☎0878(22)6745
多　摩営業所	☎0425(74)7871	広　島営業所	☎082(295)5560
東　京営業所	☎03(3253)5533	福　岡営業所	☎092(483)0791

9105 0305G

1111-Z70545